

# みえないちから

校長 小林 信



1学期が終わり、夏休みに入ります。梅雨明けが遅く、本格的な暑さを体験するのは今からだと思います。熱中症に気を付けながら元気で生活をしてほしいものです。

夏休みは、学校がある日とは違い自分で考えて使う時間がたくさんあります。夏休みのしおりを活用しながら計画的に時間を使ってほしいと思います。そして、何より2学期が始まったとき、「この夏休みは〇〇ができて楽しかったー」といえる思い出を自分で、そして家族の人と一緒に作ってほしいと思います。

## 【夏休みがんばってほしいこと】

### ○ 生活リズムを大切にする。

起床時間を必ず守るようにしましょう。ラジオ体操に積極的に参加することも起床時間を守ることにつながります。

### ○ 学習・読書は涼しいうちに

作品募集の紹介をしています。チャレンジしてみるのはいかがでしょうか。



### ○ お手伝いをしましょう

家族の一員として何か役割を果たせるとよいです。できたことを結果だけでなく取り組もうとする姿を認めてあげてください。



### ○ 体力づくりをがんばりましょう」

1時間程度、軽く汗を流す運動をしましょう。

アスリートの方の話の聞くと「自分の時間をどれだけその種目のために使ったか」がよくわかります。「何を」が見つけれたらそのために時間をたくさん使ってほしいと願っています。

## 1学期の活動を振り返って

5月の新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり校外に出かける活動が多く計画されました。徒歩で出かけるとき「行ってきます」という大きな声、帰ってきたときには「帰りました」という大きな声、そして、合わせて見せるどことなくうれしそうな表情がとても印象的です。学校から出かけるとなると妙にドキドキしたりワクワクしたりするものです。この状態がすごく大切に子ども達が何かを吸収しようとするサインと考えています。「新しいことを知ることは楽しい」ことを知ってほしい。そして「もっと詳しく調べたい」と自分なりの疑問を自ら解決していくことをたくさん経験してほしいと考えています。



4年：科学教室



6年：市議会見学



2年：ミュージアムスクール



全校：スクールコンサート



1年：川遊び



3年：町探検

## 島根スサノオマジック「夢授業」

スサノオマジックの津山尚大選手・大橋大空選手2名を迎えて、4年生が「夢授業」を受けました。1時間は、対話の時間、2時間目は、体育の授業でポートボールを行いました。1時間目の対話の時間では、あらか



じめ用意された子ども達からの質問に答えていただきました。何かを教えてもらうというより答えの中に子ども達に気づいてほしい内容がたくさん盛り込まれていました。

**「バスケットが好きだから続けられている」  
「フロになった今でも昔と変わらず大切なことは人の話をきちんと聞くこと。監督、チームメイト、先生、親の話を聞くことはずっと大切だと思う」**

**「つらいこともあるけど他の人に支えられていると思うことが多い。チームメイトやファンの方が本当に大切な存在です」 etc**



子ども達はとても真剣にメモを取りながら聞いていました。将来、子ども達が自分の言葉で語ってほしいと感じました。

2時間目は、両選手にそれぞれチームに入っただけ試合を行いました。時折、盛り込まれるフェイクやドリブルの技術に子ども達の歓声が上がっていました。休憩時間には、他の学年の子ども達、そして教職員も休憩室に出向き、一緒に写真を写すなど親睦を深めることができました。貴重な体験をさせていただいたお二人の選手に感謝の気持ちでいっぱいです。

## 珍しい野菜が？



修学旅行から帰ると教頭先生が「珍しい野菜が植えてあります」と報告がありました。実は、1・2年生が芋の苗植えをする時、苗を購入に出かけた教職員がたまたま出会った方にその旨を伝えたところ、当日様子を見に来られたことがあります。その方が「子ども達に珍しい野菜を見せたい」と言われるのでお願いしたところどうも私の留守の時にサプライズで植えられたようです。

この方は、江津市桜江町で「こだわり野菜かずお農城」を営んでいる平田一夫さんです。現在、芋畑に種類の違うトマトが数株、学校正面花壇にナスが数种植えてあります。イモの収穫の時、子ども達がどんな反応するのか楽しみです。興味のある方は、ご覧ください。

